

朝礼講話②

向島中学校の教育目標

おはようございます。

今日は、皆さんがこんな生徒になってほしいと思って掲げた本校の教育目標についてお話ししたいと思います。

昨年度、小倉校長先生が校長としての思いを込めて、「豊かな心 確かな力」という教育目標を掲げて学校をつくってこられました。私は、本校の開校以来、長きに渡り教育目標としてきたこの三つの目標を大きな柱として、向島中学校をよりよい学校にしていきたいと思えます。

まず、一つ目は「自ら学び、考え、実行する生徒」です。学校は、各教科の授業はもちろんのこと、委員会や部活動、そして様々な行事を通して、夢と希望をもって社会に貢献できる人になるための基礎づくりをする場所です。

では、皆さんはなぜ勉強するのかということを考えたことがありますか？先日、あるバラエティー番組の司会をしている人が、こんなことを言っていました。「なぜ勉強するか？それは人生の選択肢が増えるから。一生懸命がんばって 10,000 円貯めた人は 2,000 円の物を買うことができるけど、あまり頑張らず 1,000 円しかもってない人は 2,000 円の物を買うことができない」ということです。中学生の皆さんには計り知れない可能性があります。しっかりと基礎学力をつけて、たくさんの選択肢の中から自分が一番やりたいことを見つけられるようにしてほしいと思えます。そのために、空き教室や掲示板を活用して学習環境を整えること、放課後大学生に教えてもらえるような仕組みをつくること、勉強したことを確実にするための家庭学習を充実させること、そして、全員の先生の授業がより一層「わかるできる授業」となるように努力してもらおうことなど、これから具体的に示していきますので、自分の夢の実現に向けてがんばってください。

2つ目は、「互いに協力しあい、責任をもつ生徒」です。学校は、皆さんが多くの時間を過ごす小さな社会です。自分勝手な行動やわがままな行動をする人は、人とうまくコミュニケーションをとることができなくなり孤立してしまいます。全員が気持ちよく生活するためには、互いに思いやりの心をもって接すること、生活目標の「あ・じ・み・こ・し」を実践するとともにルールやマナーを守って自分の行動に責任をもつことが大切です。時には、先生から指導されることもあるかもしれませんが、素直な気持ちで受け止めてほしいと思えます。

3つ目は「身体を鍛え、健康で心豊かな生徒」です。中学生の時期は、心も体も大きく変化するときです。「元気・根気・勇氣」の校訓のもと、何事にも根気強く挑戦して成し遂げられる心と身体をつくりましょう。そのためには委員会活動や部活動、学校行事にも積極的に参加してください。自分が必死になって一つのことに打ち込んで得た物は、自信につながり人間として大きく成長させてくれます。時には失敗することもあるかもしれませんが、一人で悩まず、先生方に相談してください。

以上、3つの教育目標のもと、一人一人が向島中学校の生徒として、有意義な学校生活を送ってほしいと思えます。